

【住民参加企画】

まちのこえ

～広報広聴委員が聞く～



「忘れてない？ サイフに
スマホに 火の確認」

「幕別消防団第 1 分団後援会」

～消防団員の活動を応援しています！～

幕別消防団第 1 分団後援会は、平成 26 年に幕別地区を活動エリアとして発足しました。消防団活動を縁の下から支えている、後援会の瀬瀬太郎会長にお話を伺いました。

◆消防団の後援会組織を設立したきっかけを教えてください。

◇火災のない町づくりに向けて役立てればと考えました。仕事や商売を抱えながら頑張っている消防団員の苦労を少しでもねぎらい、応援したいという仲間が集まり設立しました。

◆これまでの主な活動を教えてください。

◇長い時には数日にも及ぶ火災現場での消防団員を支えるため、食事や飲物準備のほか、広報活動として、子供たちから募集した絵で「防火カレンダー」を製作しました。また、安心・安全を呼びかける「防火防災標語」を募集して、その作品を掲載し制作した P R 用ポケットティッシュを配布する活動も続けています。国道 38 号線に面する本町近隣センターには、防火を呼びかけ消防団を応援する看板を設置しました。



消防団第 1 分団後援会が設置した看板
(本町近隣センター：国道 38 号線側)

◆今後、どのような活動を計画していますか？

◇消防団員は、火災や災害発生時には、消防署員と一緒に、地域を守る最前線に立ち活動しています。その団員の皆さんが活動しやすい環境をつくるのが大切な役割と考えています。

消防団活動のさらなる啓発や、団員のなり手不足などの課題がありますが、今後も火災などによって尊い人命が失われることのないよう、その活動を支援する取組を進めていきたいと考えています。

(聞き手 若山和幸 小川純文)

編集後記

早いもので、本議会（3月定例会）をもって、私たちの任期が終了しました。この間、広報広聴委員会では、地域の皆さまに「議会の様子を分かりやすくお伝えしていきたい。」という想いで、研修を積みながら編集を続けてきました。今後、新たな体制となっても、その想いを引き継ぎながら取り組んでいくこととなりますが、ひとまず、現メンバーから、この4年間の皆さまのご愛顧に感謝いたします。

小田新紀

議会広報広聴委員会

(旧) 委員長 小島智恵 副委員長 寺林俊幸
委員 荒 貴賀 小田新紀 内山美穂子
若山和幸 小川純文 野原恵子 谷口和弥
(新) 委員長 内山美穂子 副委員長 荒 貴賀
委員 石川康弘 小田新紀 小島智恵 若山和幸
岡本真利子 酒井はやみ 小川純文

〇お知らせ

図書館で会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。

議会を傍聴して

札幌市豊町 樋渡 敦

今回の傍聴では、社会情勢を見事に捉えた一般質問の内容でした。例を挙げると、実父母による児童虐待、人口減少社会への対策、教育現場で長時間労働に直面している教職員、町民参加型のコミュニティ・スクール導入や小中一貫教育への移行、業務自動化など A I 化への取組、意外と関心の薄い町文化財（収蔵品）の保護、家計の負担を直撃する消費増税等々、熱く力強い質疑応答でした。

何回か傍聴してきた中で感じたのは、答弁者の説明の声小さくて聞き取りづらいことがあります。ぜひ、「町民に向けて」という思いで、明瞭をお願いいたします。

